



# Home.

— 本学への入学を希望し、学び、  
社会で活躍する卒業生のいまを伝える

vol.2



Home Vol.2 2016

本学への入学を希望し、学び、社会で活躍する卒業生のいまを伝える

2016年5月発行



千葉敬愛短期大学は数多くの優れた人材を輩出し、多くの方が小学校、幼稚園や保育所などで活躍しています。また同級生、先輩や後輩とのつながりの深さも特徴といえます。本誌は、こうした本学のブランドや、本学での学びを基本に卒業生が今なお学び続ける姿をお伝えする目的で発行しました。受験生におきましては、職場で活躍している卒業生のエピソードを通じてご自身の将来像を描いていただきたいと思います。一方、校友会会員の皆様におきましては、大学卒業後の会員のご活躍ぶりをご覧いただき、同じ志を持つ仲間として意識共有を図るのはもちろんのこと、会員の皆様同士のつながりがより一層深まることを願っております。

校友会の皆様へ

本誌は、今後定期的に刊行する予定です。皆様の本誌への積極的なご参加を心よりお待ちしております。また、お気づきのことがありましたら、右記の連絡先までお知らせください。

— 教育・保育の敬愛



## 千葉敬愛短期大学

〒285-8567 千葉県佐倉市山王1-9  
TEL: 043-486-7111 (代表) FAX: 043-486-2200  
発行/千葉敬愛短期大学校友会

〈千葉敬愛短期大学校友会 HP〉

<http://www.chibakeiai.ac.jp/tkouyukai/>





Message

千葉敬愛短期大学 学長  
明石 要一

2014年の4月、学長に就任した明石要一です。千葉大学の教育学部で37年間教員を務め、主に小・中学校の教員養成を行ってきました。今度は幼児教育の保育者を養成する役割も担うことになりました。よろしくお願いします。ご承知のように千葉敬愛短期大学は1950年の開学より千葉県下に2万3千人以上に及ぶ教育者・保育者を輩出し、地域の皆様から「教育と保育の敬愛」という評価をいただいています。2014年4月より初等教育科から現代子ども学科に名称を変更し、定員も50名増やして200名となりました。短期大学を取り巻く環境は厳しいのですが、お陰様で就職率はほぼ100%を維持する一方、毎年多くの方に本学を受験いただき、定員を十分に確保しています。本学では、量から質を求められるこれから教育・保育のニーズに対応し、高い志を携えて入学した学生たちを養成し、社会に貢献できるよう育成していく所存です。小誌が、本学を巣立ち、活躍する卒業生の様子をご紹介できれば幸いです。



Message

千葉敬愛短期大学 校友会会長  
片山 喜久子

千葉敬愛短期大学校友会は、1992年に創設されました。会員の親睦・交流を図るとともに、母校の発展に寄与することを目的に活動を進めてきました。これまで、大学の諸行事に積極的に参加し、学生の皆さんにもお馴染みになっています。そうした活動を通して、本学の学生が2年間、真剣に学業に取り組む、目標達成のためにたゆまぬ努力をする姿を見てくださいました。そこには先生方と学友との強い絆も結ばれています。校友会は本学及び学生の活動を支援するとともに、会員相互の密なる交流を図ることを目指しています。受験生の皆様、ぜひ本学に入学して、夢を叶えるとともに、校友会の仲間となって人生を通して活動してまいります。

千葉敬愛短期大学のあゆみ

1921 (大正10年)  
八日市場女学校創設



1926 (大正15年)  
財団法人関東中学校創立



1950 (昭和25年)  
千葉敬愛短期大学  
教育科設置  
(現・千葉県匝瑳市八日市場)



1952 (昭和27年)  
法経科増設 (昭和44年)

1955 (昭和30年)  
・教育科を初等教育科と改称  
・保健体育教員養成所設置  
(昭和48年)



1959 (昭和34年)  
初等教育科移転  
(現・千葉市稲毛区穴川)



1962 (昭和37年)  
初等教育科第一部増設  
(昭和62年)



1969 (昭和44年)  
千葉県教育委員会より委託研修生受け入れ (公立小学校教諭資格付与のため)

1973 (昭和48年)  
千葉敬愛短期大学附属幼稚園開園  
(現・千葉市美浜区高洲)

1987 (昭和62年)  
初等教育科移転  
(佐倉市山王の現在地)



1990 (平成2年)  
千葉敬愛短期大学  
国際教養科増設

1992 (平成4年)  
図書館・特別教室棟、学生会館完成

1996 (平成8年)  
情報教育研究所開設

1997 (平成9年)  
国際教養科学生募集停止  
(学部へ改組転換のため)

2000 (平成12年)  
千葉敬愛短期大学創立50周年



2001 (平成13年)  
保育士養成課程を開設

2009 (平成21年)  
千葉敬愛短期大学  
総合子ども学研究所開設

2010 (平成22年)  
千葉敬愛短期大学創立60周年

2014 (平成26年)  
初等教育科を現代子ども学科と改称  
・初等教育コース、保育コースを設置



教育の成果はすぐには出ないし、見えにくいけど  
子どもの成長を感じた瞬間の喜びは大きい

短大卒業後、小学校教員として働く薦田菜摘さん・葉摘さん夫婦。二人は在学中、同級生同士だった。また、晃幹さんの妹である育栄さんも現在、千葉敬愛短期大学に在籍。敬短一家とよってよい三人に、お話を伺った。

Profile

薦田 晃幹さん（こもだてるもと）

2011年3月卒業  
大学卒業後、いすみ市の特別支援学校で障害児教育に携わる。2014年に白子町内の小学校に異動。2016年、短大の同級生だった葉摘さんと結婚。

薦田 菜摘さん（晃幹さんの妻）

2011年3月卒業  
短大卒業後、千葉市、船橋市の小学校で講師として勤務。2013年、教員採用試験に合格し、船橋市内の小学校に勤務。2016年、結婚と同時に茂原市内の小学校に異動。

薦田 育栄さん（晃幹さんの妹）

初等教育コース2年生（2016年現在）  
東海大学附属望洋高等学校、山野美容専門学校出身。



勉強も行事も全力の学生時代  
今もその姿勢は変わらない

晃幹 両親が教員だったんですが、別の道を進もうと4年制大学の建築科を卒業しました。どんな職業に就きたいのか答えが出ないまま販売職に就いたのですが、結局数か月で辞めてしまいま

した。そんなとき親や教員を目指す友人の話を聞き、教員になりたいと思うようになりました。

葉摘 私は小学校時代の先生に憧れて、教員を目指しました。早く現場に出たかったので、迷うことなく千葉敬愛短期大学を選びました。晃幹さんとは同級生で、みんなで行事も勉強もが

ばつて、充実した2年間でしたね。教員となった今も、授業にも遊びにも全力で取り組んでいます。

晃幹 私が卒業後配属されたのは特別支援学校でした。予備知識も経験もなく、障害を持った子どもとどう接しているのかわかりませんでした。でも次第に「特別支援教育は教育の原点だ」という恩師の言葉を実感するようになりました。教員が支援することで、一人できなかつたことができるようになる。成長はゆっくりでも、一番近くで感じることもができるのは教員として大きな喜びです。

プランクが長かったが  
兄の激励で教員を目指す

育栄 私は、高校卒業後4年間美容師をしていたのですが、特別支援教育支援員として中学生のサポートをして、教員になりたいという気持ちが芽生えました。兄にも相談し、千葉敬愛短期



# “今”

敬短では学生の「人間力」の養成を目指して活発な学生活動の促進を行っています。制度・イベントを通して、「今」の一部分をご紹介致します。

## 一生の友に出会う 敬短ライフ

敬短ではクラス制を取っており、保育コースは1クラス35名程度で5クラス、初等教育コースは20名程度の1クラスで編成されています。クラス役員・委員会など、ほとんどの学生が何らかの委員会に属し充実した2年間を過ごします。

### チューター制度

チューターは、1年次の年度末に募集され面接で選ばれる人気の役職です。姉妹クラス（例：2Aと1A）の新入生が大学に慣れるようサポートします。イベントの企画だけでなく、1年生から相談を受けるなどの活動は1年生たちの憧れです。



### 学外オリエンテーション

新入生が早く学生生活に慣れるために、一泊二日で行われるオリエンテーションです。大学生活が充実したものになるようにカリキュラムの説明を行います。チューターが企画したゲームなどを通じてクラス内の結束を図り、先輩・後輩・先生との親睦を深めます。



## 真剣に学び・遊ぶ イベント

クラスの仲間たちと一緒に築きあげる行事は卒業しても大切な思い出として残ります。近隣の方保護者も参加して盛り上がる行事には、卒業生も数多く訪れ、再会の場にもなっています。あなたも是非、参加してみませんか？

### 体育祭

学生が企画・運営を行い、毎年10月初旬に開催します。午前中はクラス対抗リレーや綱引きなどが行われ、グラウンドが熱い歓声に包まれます。午後は体育館で創作ダンスの発表会。数カ月前から衣装や振り付けを準備してこの日に挑みます。体育館には家族や先輩、地域の方々も集まります。



### KEIAI☆フェスタ(学園祭)

毎年10月下旬に2日間にわたり開催します。学生が企画・運営する模擬店やイベントがキャンパス内の各施設で開催され、学生たちが企画・運営する模擬店やイベントがキャンパス内の各施設で開催。後夜祭では花火が打ち上げられ、佐倉市の夜空を彩ります。(当日の詳細は、本学HPをご覧ください。)



敬愛愛人の心をつむぐ「同窓生推薦」

#### 出願要件

- ・本学を専願とする
- ・全体評定平均値3.0以上
- ・本学卒業生が子、孫、兄弟姉妹を推薦します。

※申請には本学発行の書類が必要です。お問い合わせください。

大学に入学しました。

晃幹 ブラUNKが長いから、簡単にはいかない。2年間必死で勉強しないとイケないとアドバイスしましたね。

育栄 勉強方法のアドバイスも役に立っています。現役生とは年の差がありませんが、兄が楽しそうに学生生活を送っていたので、大丈夫だろうと思いましたが、実際、クラスメイトとのギャップはまったく感じていません。

晃幹 KEIAIフェスタを見に行きましたが、楽しくやっている妹の姿を見て安心しました。

菜摘 KEIAIフェスタは、OBやOG、先生方との情報交換の場になっています。敬短のつながりは強いですが、私は卒業後2年間講師をしたのですが、クラスの仲間と励まし合って勉強しましたし、大学も合格するまで親身に面倒を見ていただきました。

晃幹 敬短ほど、採用試験対策が充実している大学はないと思います。恵まれた環境を生かして、育栄もがんばって

ほしいですね。

育栄 はい、一から勉強し直して教員になるという意志を貫き通したいです。

晃幹 私も「教員に向いてないかもしれない」と悩んだことがあります。でも大切なのは、「やりたい」という気持ち。私も子どもや保護者に信頼される先生になれるよう、初心を忘れず学び続けたいと思っています。

菜摘 私は「授業力」を向上させたいですね。「教員に求められるのは授業力」という恩師の教えに沿って、子どもたちが自分で勉強しようと思えるような、子どもが主役の授業をしたいと思っています。

育栄 今日2人の教育への思いを聞いて、決意を新たにしました。夢に向かってがんばります。



## HOME-私の思い出

### 菜摘さん

体育祭で行われるクラス対抗の創作ダンスには、力が入りました。私たちのクラスは20人と、他クラスよりも人数が少なかったため、それをどうカバーしてどう見せるか、みんなで検討を重ねました。ミュージカル曲をテーマに選び、他クラスより男子が多いという強みを生かして、男子の存在を強調した振り付けにしました。衣装もパートごとに変えるなど趣向を凝らした結果、見事1位を獲得することができました。

### 晃幹さん

チューターをやったのが一番の思い出です。男子は3人。私以外は現役生だったこともあり、当初は心理的な距離や考え方の違いを感じていました。オリエンテーションの日が迫るなか、バラバラだった意見をチューター長を中心に集約していき、最終的に全員が同じ方向を向くことができたときには、私のなかにあった違和感もなくなっていました。チューターをやってよかったと思え、今もそのときの経験が生きていると思います。



自分と同じ道を歩む娘  
周りに感謝しながら選んだ道をまっとうしてほしい



外の社会を知って  
教育への想いが強まった

私は学生時代は水泳とピアノが苦手  
で、友人たちと励まし合いながら練習  
しました。同じ夢を持つクラスの仲間  
は、心許せる存在でした。就職した幼  
稚園は教材を手作りすることが多く、  
行事の前などは深夜まで準備すること  
もありましたが、子どもたちの笑顔が  
一番のやりがいでした。

その後民間企業に勤務したり、子育  
て中は専業主婦をしたりしてしました  
が、娘の依里が幼稚園に入るときに幼  
稚園教諭として復帰しました。幼稚園  
以外の社会を知って、改めて子どもの教  
育に関わりたいという思いが強くなった  
のです。また子育てを経験したことで、  
子どもの気持ちをより深く理解できる  
ようになりました。子どもを教育する  
うえでは、どんな経験も無駄にはなり  
ません。すべてが糧になることを再認  
識しました。

常に自分を高めないと  
教育はできない

幼いころから「幼稚園の先生になりた  
い」と言っていた娘も、千葉敬愛短期大  
学に進学しました。娘の在学中、私も  
保育士の免許を取得するため、特別講  
習を受けに母校に通いました。娘は「そ  
の年でまだ勉強するの」と驚いていまし  
ましたが、常に自分を高めないと教育はでき  
ません。娘は私からそんな姿勢も学んで  
くれたかなと思います。

文化祭や体育祭は必ず見学しました。  
なかでも創作ダンスには刺激を受けま  
した。先生方が学生の自由な発想を受  
け入れ、生かしてくださっていることが  
わかり、娘がそうした環境で学べたこと  
に感謝しています。

娘には、自分で選んだ道をまっとうし  
てほしいと思っています。自分一人で  
できることはそう多くありません。周り  
に助けを求め、感謝しながら一歩ずつ前  
に進んでほしいと思います。

Profile

### 内田 伸子さん

1984年3月卒業  
短大を卒業後、都賀フレール幼稚園に就職。  
1990年に一般企業に勤め、出産のため離  
職。子育てを経て保育への思いがよみがえり、  
1999年以降公立幼稚園やこども園で臨時  
職員として勤務。2016年には八街市内小  
学校にて講師として就職し、現在に至る。  
※現在は廃園

### 内田 依里さん（内田 伸子さんの娘）

2016年3月卒業  
私立幼稚園に就職

### HOME-私の思い出

他クラスの学生とも仲がよく、有志で山形までバス  
を借り切ってスキーに行ったり、お花見をしたりしまし  
た。当時は高校から大学まで同じ穴川キャンパスだっ  
たので、短大以外の学生と話をすることも多かった  
です。また千葉大とは  
キャンパスが近かった  
ので、社交ダンスなど  
千葉大のサークルにも  
よく参加していました。





## 母娘2世代が教え子に 広がっていく敬短人脈は大きなファミリ―

ピアノの基本的技術を身につけてほしいという信念で厳しく指導

教育現場で子どもたちに音楽を教えるために、学生にはピアノの基本的技術をしつかり身につけてほしいという思いで指導をしています。だから、学生にとって私は「厳しい先生」だと思います。うまく弾けなくて涙を流す学生もいます。でも子どもたちが歌っている途中で、教師がピアノの演奏を間違えたら、そこで歌はストップしてしまうのです。少しでもうまくなってほしいという思いは、必ず学生に通じるはず。そんな強

い信念を持っています。卒業時に「アナ先生は怖いと思っていたけれど、先生に習えてよかった」と言ってもらえると、本当にうれしく思います。

学生の習熟度には個人差があります。指導の際は学生と1対1で向き合いますが、授業は少人数のグループレッスンなので、初心者が経験者の弾く曲を聴いたり、経験者が初心者を指導したりすることも学びにつながっています。学生が互いを理解し教えあうことは、将来教育者になる学生にとっては特に効果的だと言えるでしょう。

努力は嘘をつかない  
必死の努力を誉めてあげたい

努力は嘘をつきません。初心者は在学中の2年間でピアノを弾けるようになるとうと必死で練習します。入学直後はたどたどしい指づかいだった学生も、秋になるころにはぐんと力が伸びています。私は、その努力を誉めてあげたい。試験で間違えずに弾ける。教育実習で自分のピアノに合わせて子どもたちが歌ってくれる。そして教壇に立つと、今度は自分が音楽を教える側になる……いろいろな場面で、ピアノを学んだ喜びが感じられるはずです。

敬短で教鞭をとって40年近く。母娘2世代にピアノを教えられることは、私にとっても大きな喜びです。こうして広がっていく敬短人脈は大きなファミリ―。その一員であることを誇りに思います。

### Profile

#### 竹内 アンナ 特任教授

武威野音楽大学音楽部器楽科ピアノ専攻卒業。1978年に本学非常勤助手。専任助手、専任講師を経て、1995年に助教職。2009年より現職。



#### ふれあいピアノコンサート

2006年に学生のピアノの成果をあらわしたいと「ふれあいピアノコンサート」を立ち上げました。ステージでピアノを弾きたい学生を募集する際、ピアノのレベルは問いません。連弾も含め30名ほどの出演者はみんな背筋をピンと伸ばし、見事な音楽表現をしてくれています。成果が着実に実を結び、回を追うごとにすばらしいコンサートになってきました。

